



WebFOCUS リリースノート（アシスト追補版）

Version 9.3.4

本リリースノート（アシスト追補版）では、英語版マニュアル『WebFOCUS Release Notes Version 9.3.4』を補完する情報と注意点を記載しています。WebFOCUS Version 9.3.4 をインストールの前に必ずご一読ください。

トピック

- WebFOCUS リリースノートについて
- WebFOCUS Release Notes Version 9.3.4 抜粋要約
- WebFOCUS Version 9.3.4 で修正された問題
- WebFOCUS Version 9.3.4 で新規に発生する問題
- ライセンスファイルの適用について（WFTEST-5982）
- 以前のバージョンからの Resource Analyzer リポジトリの移行について（WFTEST-5906）
- オンラインヘルプについて（WFTEST-6061）

WebFOCUS リリースノートについて

英語版マニュアル『WebFOCUS Release Notes Version 9.3.4』には、利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

Release Notes は、WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしていただくことができます。

WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、下記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

<https://wfp.ashisuto.co.jp/service/>

WebFOCUS Release Notes Version 9.3.4 抜粋要約

英語版マニュアル『WebFOCUS Release Notes Version 9.3.4』の追加された内容の抜粋要約は以下の通りです。

バージョンおよびビルド情報

ビルド番号	WebFOCUS Reporting Server
wf042825b wi042825b as042925a	9.3.4 Gen 2980

新機能

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が追加されています。

- **サポートされている SQL アダプタの SQL 最適化**

サポートされているすべての SQL アダプタには、次の SQL 最適化が含まれています。

- SQL アダプタのパフォーマンスを向上させるために、生成された SQL が次の関数に対して改善されました。

- DTPART(WEEK)
- DTRUNC(WEEK|WEEK_END)
- DTDIFF(WEEK)

- 新しい ENGINE 設定が作成され、WEEKFIRST パラメーターを使用できるようになりました。
ON に設定すると、WEEKFIRST パラメーターを使用して、次の関数が最適化されます。

- DTPART(WEEK)
- DTRUNC(WEEK|WEEK_END)
- DTDIFF(WEEK)

OFF に設定すると、これらの関数の最適化はアダプタ固有になります。

この設定は、プロシジャレベルでローカルに、またプロファイルでグローバルに実装して、生成された SQL を改善できます。これは、次の構文を使用して有効になります。

ENGINE <engine> SET FEATOPT WEEKFIRST ON

- **WebFOCUS ReportCaster の出力言語オプション**

WebFOCUS ReportCaster の [タスクの詳細設定] にある [出力レポートのロケール] ドロップダウンオプションを使用すると、出力言語を上書きできます。

- **ibi™ WebFOCUS® Designer のオブジェクト・アクセス・コントロール**

ibi™ WebFOCUS® Designer の SQL 構築プロセスについて、ユーザーのロールと認証に基づいてオブジェクト・アクセス・コントロールが強化されます。

- **データをロードせずにアップロードを終了する**

WebFOCUS Reporting Server コンソールで、[ロード] ボタンをクリックせずに [データのアップロード] ウィンドウを終了すると、警告メッセージが表示されるようになりました。

- **Kerberos による代替ユーザー認証のサポート**

Kerberos 認証で Reporting Server にアクセスするスケジュールでは、Reporting Server に接続する際に、代替認証方式が必要になりました。

機能の変更

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が変更されています。

- **日付形式の変更**

組み立てられたページフィルタでは、カレンダーフィルタコントロールの日付形式が、完全にスペルアウトされた形式（たとえば「2025 年 1 月 2 日」）から、短い数値形式（たとえば、米国のロケールでは「1/2/2025」、ほとんどのヨーロッパのロケールでは「2/1/2025」）に変更されました。

※注意:すでに作成されたページフィルタの日付形式は変更されていません。

削除された機能

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が削除されています。

管理番号	コンポーネント
RC-4104	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster では、FLEX – Active Report 形式 (*.swf) がサポートされなくなりました。
RC-4077	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster では、PDF Analytic Document (APDF) 形式がサポートされなくなりました。

削除されたアダプタ

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次のアダプタが削除されています。

- Python®

WebFOCUS Version 9.3.4 で修正された問題

WebFOCUS Version 9.3.4 では、新たに以下の問題が修正されました。

管理番号	コンポーネント	内容	修正バージョン
WFTEST-754	ReportCaster	ReportCaster で配信先をリポジトリに指定して配信した場合、配信された HTML のタイトル上で日付の「月」が正しく表示されません	9.3.4
WFTEST-4780	ReportCaster	ReportCaster ステータスからジョブログを確認すると null が大量に表示されます。	9.3.4
WFTEST-5452	InfoAssist	InfoAssist（ドキュメント）で作成した Analytic Document グラフの任意の値をマウスで選択する時、選択した値以外の非アクティブ（背景が薄くなる）になるはずの一部の項目がアクティブな状態のまま表示されます	9.3.4
WFTEST-5607	In-Document Analytics	デザイナスタイル（SET ARVERSION=2）の FORMAT AHTML レポートで、ソートを使用後、[行のハイライト]を設定しても指定した行がハイライトされません	9.3.4
WFTEST-5781	管理コンソール	管理コンソールで、「パスワード期限切れ警告までの日数」設定後、設定した日付になってもホームページ（WebFOCUS Hub）に警告が表示されません	9.3.4
WFTEST-5895	App Studio	ダブルリストコントロールの[ポップアップスタイル]-[実行用'ページ/検索'の追加]機能における検索欄にて、項目を検索して選択した項目に対しては、連鎖がされません。	9.3.4
WFTEST-5912	Designer	Designer のデータタブにてフィルタの設定をした HOLD ファイルをもとにビジュアライゼーションでレポートを作成する時にプレビュー画面上で一部データが欠落し、正しい表示となりません。	9.3.4
WFTEST-6045	App Studio	HTML キャンバスで HTML にアコーディオンのタブを配置し、何度も繰り返しクリッ	9.3.4

		クしていると一部のアコーディオンが動作せず、開いたり閉じたりできなくなる場合があります	
WFTEST-6069	BI Portal	新規フォルダ作成が可能なフォルダ選択後に、作成不可ルールが設定されているフォルダ配下の共有コンテンツフォルダを選択した場合に、新規フォルダ作成ボタンが活性化される。	9.3.4
WFTEST-6081	App Studio	連鎖中にドロップダウンリストをクリックすると、クリックしたドロップダウンリストがすべて展開されます。	9.3.4
WFTEST-6086	Designer	ビジュアライゼーションを作成時、[カスタム]>[Odometer]グラフを選択すると、グラフ画面に表示される数値が揺れて表示されます。	9.3.4
WFTEST-6177	Designer	ビジュアライゼーション作成時、日本語フィールド名に対して条件付きスタイルを設定すると、「この変数の値は無効です。'conditionsToDelete'」のエラーが発生します	9.3.4
WFTEST-6220	Reporting Server	データのアップロード画面で [名前] や [テーブル] の値を変更後に、項目のデータタイプ編集画面を開いて閉じると、変更した [名前] や [テーブル] の値が変更前の値に戻ります	9.3.4
WFTEST-6226	Web コンソール	簡易モードでデータのアップロードを行う際、大文字を含むテーブル名を指定してもアクセスファイルのテーブル名は小文字になります	9.3.4
WFTEST-6236	App Studio	テキストボックスとポップアップダブルリストコントロールを連鎖している場合、選択条件保存後の HTML を実行時に、条件値として存在しない値を検索するとポップアップダブルリストコントロールにすでに値が保持されていた場合でもポップアップダブルリストコントロールが開きません。	9.3.4
WFTEST-6254	管理コンソール	WebFOCUS Hub 画面のセキュリティセンターから登録したロールを削除しようとする、「Get Properties は実装されていません」のエラーが表示されて削除できません	9.3.4
WFTEST-6256	Reporting Server	Analytic Document の列固定項目上でスクロールすると、フォーカスしている行が左右で一致しません	9.3.4

WFTEST-6260	ReportCaster	ReportCaster ステータスで、登録したスケジュール禁止期間を削除しようとした時に表示される確認ダイアログのタイトルが「削除」などではなく「エラー」と表示されています。	9.3.4
WFTEST-6301	ReportCaster	リポジトリが DB2 で SJIS 構成の場合、ReportCaster のジョブログの中の特殊文字が正しく表示されません (ibi に続く TM マークが文字化けし、WebFOCUS に続く R マークが表示されません)	9.3.4
WFTEST-6313	ホームページ	「Designer ページのエクスプローラ機能」または「WebFOCUS ホームページ画面」のコンテンツの検索にて、コンテンツを検索しても検索結果が 0 件になります。	9.3.4
WFTEST-6314	ホームページ	エクスプローラコンテナのコンテンツの検索にて、HTML ファイルを検索すると警告メッセージが表示され、HTML ファイルを実行できない。	9.3.4
WFTEST-6371	App Studio	SQL パススルーコマンドに ENGINE コマンドが指定されていないプロシジャは、レポートキャンバスで開けません。	9.3.4
WFTEST-6376	Designer	Designer のドキュメントにて、フィルタ付きのビジュアライゼーションを挿入後、任意の操作を行い「元に戻す」ボタンを活性化させた後、「元に戻す」ボタンをクリックすると「Unknown Error Message」が発生してしまいます。	9.3.4
WFTEST-6389	Reporting Server	テーブルで小数点以下の数値を保持している項目の DEFINE 項目作成時にフォーマット・桁数を指定せず、その項目を使用して COMPUTE で一時項目を作成すると、結果が正しく出力されません	9.3.4
WFTEST-6398	Web サービス	REST API で ReportCaster のジョブログを参照することができません	9.3.4
WFTEST-6400	Reporting Server	接頭語と ACROSS を使用して HOLD 出力を行うリクエストで件数が 0 件の場合、エージェントクラッシュが発生します。	9.3.4
WFTEST-6447	Designer	Designer ビジュアライゼーションや、InfoAssist のレポートなどで、数値項目を動的フィルタに設定する場合、実行時オートプロンプトで「新規ウィンドウで実行」にチェックを入れて送信ボタンをクリックしてもレポートが表示されません	9.3.4

WebFOCUS Version 9.3.4 で新規に発生する問題

WebFOCUS Version 9.3.4 では、以下の問題（仕様変更、注意点を含む）が新規に発生することが報告されています。

管理番号	コンポーネント	タイプ	内容
WFTEST-5858	InfoAssist	不具合	InfoAssist でパレートグラフを使用すると、ツールチップにすべて同じ値が表示されます。
WFTEST-5931	ホームページ	不具合	ポータル参照権限のみ持っているユーザで、ポータルビューから確認した時、公開済みのポータルに非公開マークがつきます。
WFTEST-6411	ホームページ	テクニカル	WebFOCUS Hub で「新しいことを始める」タブから、「データの探索」を選択すると、「この機能をサポートするデータサーバが見つかりません。WebFOCUS 管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。
WFTEST-6452	Designer	不具合	Designer ビジュアライゼーションで、見出しや脚注に変数「現在の時間 (hh:mm:ss)」を設定した時に、時刻がコロンの (:) ではなくピリオド (.) 区切りのフォーマットで表示されます
WFTEST-6469	インストール	テクニカル	9.3.4 以降、Windows 環境での ReportCaster のサービスの表示名は「WebFOCUS ReportCaster WFSchbkrSvc93」、レジストリキー名は「WFSchbkrSvc93」となります
WFTEST-6476	Designer	不具合	ビジュアライゼーションの「データソースの選択」画面にて、任意のファイルを選択後、マスターファイルが何も選択されていない状態に戻すと「ビジュアライゼーションの作成」ボタンが活性化されたままでクリックしてもツールは起動しません。
WFTEST-6480	App Studio	不具合	App Studio のレポートキャンバスで、レポートの背景色のカラーパレットで設定した色が実行結果に正常に反映されません。
WFTEST-6484	App Studio	不具合	App Studio にてヘルプトピックを選択すると、「ヘルプシステムを初期化できません。HelpIDFileNames.ini ファイルがありません。」という警告が表示されます。
WFTEST-6491	App Studio	不具合	App Studio のプロシジャビューで、JOIN を設定後レポートを新規作成しようとする時、App Studio が強制終了します。
WFTEST-6492	その他	不具合	ファイル名が数値から始まるファイルをアップロードする際、[詳細]ボタンから[保存してプリペ

			アを再実行]をすると、[詳細]などのボタンや区切り文字などを選択するドロップダウンリストが表示されません。
WFTEST-6497	Designer	不具合	Designer の編集画面にて見出しに改行を指定すると、プレビューエリア内の見出しとレポート/グラフの間に空白が追加されます。
WFTEST-6502	Designer	不具合	Designer のデータタブにて作成した HOLD ファイルをもとにビジュアライゼーションで動的フィルタを設定したレポートを保存後、再ログインして実行するとフィルタの値が表示されません

WebFOCUS をご使用にあたっての非互換、不具合の詳細な情報は、AWSC-2（Ashisuto Web Support Center-2※）の WebFOCUS 不具合・非互換一覧 バージョン 9（FAQ 番号：60195）をご確認ください。
<https://ashisuto.my.site.com/awsc2>

※AWSC-2 のログインにはサポート ID が必要となります。

ライセンスファイルの適用について（WFTEST-5982）

WebFOCUS V9.3.0 より、WebFOCUS Reporting Server をインストールするために、顧客 ID とライセンスファイルの適用が必要となりました。

【注意事項】

- 顧客 ID は、WebFOCUS Reporting Server インストール時に指定します。
- ライセンスファイルには、契約満了日の情報が含まれており、その日付を過ぎると WebFOCUS Reporting Server が起動できなくなります。そのため、満了日までに契約の更新と新しいライセンスファイルの入手と適用が必要となります。契約に関する手続きについては、弊社営業担当にお問い合わせください。

【手順】

1. WebFOCUS Reporting Server を停止します。
2. 以下のフォルダ/ディレクトリに、入手したライセンスファイル（license.txt）を配置します。

ライセンスファイルの配置場所：

Windows: <drive>:\ibi\srv93\wfs\bin

Linux: <directory>/ibi/srv93/wfs/bin

3. WebFOCUS Reporting Server を開始します。

以前のバージョンからの Resource Analyzer リポジトリの移行について (WFTEST-5906)

WebFOCUS V9.2.2 以降、Resource Analyzer を新規構成した場合のリポジトリのテーブル名は、末尾にバージョン番号を表す名前に変更となります。

各バージョンのテーブル名： V9.2.x の場合は「SMxxx_9200」、V9.3.x の場合は「SMxxx_9300」等となります

<V8.2.07 ~ V9.2.1>	<V9.2.2 ~ V9.2.3>	<V9.3.x>
SMAUDIT_8207	SMAUDIT_9200	SMAUDIT_9300
SMCOLUMNS_8207	SMCOLUMNS_9200	SMCOLUMNS_9300
SMFROMS_8207	SMFROMS_9200	SMFROMS_9300
SMFUNCTIONS_8207	SMFUNCTIONS_9200	SMFUNCTIONS_9300
SMGOVERN_8207	SMGOVERN_9200	SMGOVERN_9300
SMQUERY_8207	SMQUERY_9200	SMQUERY_9300
SMRELATIONS_8207	SMRELATIONS_9200	SMRELATIONS_9300
SMREMOTES_8207	SMREMOTES_9200	SMREMOTES_9300
SMREQUESTS_8207	SMREQUESTS_9200	SMREQUESTS_9300
SMRPCREQUESTS_8207	SMRPCREQUESTS_9200	SMRPCREQUESTS_9300
SMRPCS_8207	SMRPCS_9200	SMRPCS_9300
SMRPCWF_8207	SMRPCWF_9200	SMRPCWF_9300
SMSERVERS_8207	SMSERVERS_9200	SMSERVERS_9300
SMSESSIONS_8207	SMSESSIONS_9200	SMSESSIONS_9300

WebFOCUS のバージョンアップにおいて、V9.3.x の新規インストールを行い、以前のバージョン（V8.2.07～V9.2.3）で構成済みの Resource Analyzer リポジトリを移行する場合、以下の手順で対応してください。

以前のバージョンから Resource Analyzer リポジトリの移行を行わない場合は、対応の必要はありません。

また、以前のバージョンから更新インストールを行った場合は、Resource Analyzer のリポジトリテーブルは以前に構成されたテーブル名が使用されるため、対応は不要です。

【事前確認】

- 移行元環境（V8.2.07～V9.2.3）と移行先環境（V9.3.x）の Reporting Server のコードページは、同じである必要があります。
- 移行元環境（V8.2.07～V9.2.3）と移行先環境（V9.3.x）の Resource Analyzer 構成で使用するアダプタのタイプ/バージョン、接続名は、同じである必要があります。

【手順】

-
1. 移行元環境と移行先環境の Reporting Server のサービスを停止します。
 2. 移行元環境の<drive>:¥ibi¥srv**¥wfs¥catalog¥rm フォルダをコピーし、バックアップを取得します。
 3. 移行先環境の<drive>:¥ibi¥srv93¥wfs¥catalog¥rm 配下に、2.で取得したバックアップから rm フォルダ配下のファイルをコピーします。
 4. 移行先環境の Reporting Server のサービスを起動します。
 5. Web コンソールにアクセスします。ブラウザを起動し、次の URL にアクセスします。
http://hostname:port/
説明 :
hostname
WebFOCUS Reporting Server を実行しているマシンのホスト名または IP アドレスです。
port
インストール時に指定した HTTP ポートです。デフォルトは 8121 です。
 6. 画面上部のツールメニューから[リソース管理]を選択し、リソース管理画面で以前のリリースで蓄積された利用ログを表示できることを確認します。

オンラインヘルプについて（WFTEST-6061）

WebFOCUS V9.3.0 より、オンラインヘルプは以下のメーカードキュメントサイトで公開されるヘルプに統一されました。（オンラインヘルプは現在英語版のみの公開となります。）

【WebFOCUS Client】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-wf/9.3.0/doc/html/Default.htm>

【WebFOCUS Reporting Server】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-rs/9.3.0/doc/html/Default.htm>

【WebFOCUS App Studio】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-as/9.3.0/doc/html/Default.htm>

各ヘルプは、HTML 形式でダウンロードすることもできます。

以上